

会議の名称	第5期第6回男女共同参画推進委員会
開催日時	令和8年4月21日（木）午前10時00分から11時30分まで
開催場所	上戸田地域交流センターあいパル 1階 多目的室
委員氏名	<input type="checkbox"/> 織田 容子 <input type="checkbox"/> 小野塚 加代 <input type="checkbox"/> 川端 洋 <input type="checkbox"/> 杉山 歩 <input type="checkbox"/> 茂呂 理絵 <input type="checkbox"/> 禿 あや美 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 高木 美香 <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 結城 剛志 <input type="checkbox"/> 稲垣 勝弘 <input checked="" type="checkbox"/> 武藤 昌博 <input type="checkbox"/> 加藤 ちあき <input type="checkbox"/> 谷島 宏美 <input type="checkbox"/> 安部 孝良 <input type="checkbox"/> 中里 亨 <input type="checkbox"/> 香林 有希子 （ ◎委員長 ○副委員長 ） （ <input type="checkbox"/> 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 欠席 ）
事務局	小林課長、柄澤主幹、小倉主任
議題	【議事】 （1）令和7年度における男女共同参画事業報告について （2）令和8年度における男女共同参画事業計画について （3）令和8年度の取組内容（案）について （4）その他
会議の経過	会議の詳細は別紙のとおり
会議資料	・次第 ・委員名簿 ・資料1-1 令和7年度 戸田市男女共同参画事業報告 ・資料1-2 令和7年度 上戸田地域交流センターあいパル 男女共同参画事業報告 ・資料2-1 令和8年度 戸田市男女共同参画事業計画 ・資料2-2 令和8年度 上戸田地域交流センターあいパル 男女共同参画事業計画 ・資料3 令和8年度 取組内容（案）について

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
	開会
委員長	委員長あいさつ
	【議事】 (1) 令和7年度における男女共同参画事業報告について
委員長	議事(1)について、はじめに、戸田市の部分を事務局から説明をお願いします。
事務局	資料1-1に基づき説明
委員長	パートナーシップ届出制度について弁護士へ相談された中で、届出受理証明カードには法的な効力はないことを市から届出者へ説明することだが、市民への説明は口頭で説明するのか。
事務局	そのとおりである。窓口で説明すると同時に、説明の紙もお渡しする。
委員長	その紙は委員会で拝見したことあったか。
事務局	委員会ではお示しはしていない。
委員長	承知した。また、令和7年度取組として小学校で男女共同参画の出前講義をやらせてもらったことは良かったと思う。
委員長	議事(1)について、あいパルの部分を委員から説明をお願いします。
委員	資料1-2に基づき説明
委員長	男女共同参画フォーラムで実施した、江戸時代の川柳とはどんな内容だったのか。
委員	女性の意志が軽視されがちな内容が昔は多かったが、時代を経て、女性も意見を言いやすい時代背景になってきたことで、女性が活躍をしていく川柳になった。

	<p>もしくは、男性が育児等に関わっていくというような川柳が増えてきた。</p>
委員長	<p>ちなみに女性を書いた川柳というのもあったのか。</p>
委員	<p>女性を書いた川柳もあったし、男性が書かれた川柳もあった。</p>
委員	<p>川柳は講座のワークショップの中だけで、見られる場所というのはあるのか。</p>
委員	<p>ワークショップというよりは、講師の方からお話をいただく講演会である。講座の中で資料が配られて、参加者が目を通すというものだった。</p>
委員	<p>事務局に伺いたいですが、このパートナーシップ・ファミリーシップ届出受理証明カードが実際に使われた話はあるのか。</p>
事務局	<p>医療機関で使われたという話は調べていく中では聞いたことがない。意思表示欄をカードに導入している自治体というのも埼玉県内でも少ないため、手元には持っているけれども使われた話は聞いたことがない。</p>
委員	<p>活用された事例話が聞けたら嬉しいと思った。</p>
事務局	<p>2月末に、意思表示欄を導入した改正したカードを送付した。送付した後も特に反響はなかった。カード送付時に同封している書類には、カードの使い道について記載しており、パートナーを家族として取り扱ってもらえるかは医療機関によって異なるかもしれないが、それでも意思表示欄が導入されていることによって、2人の関係性を分かりやすく示すことができる。性的マイノリティの方に寄り添った形でお使いいただけるようにということでご説明はさせていただいている。まだカードを使ったことがないにしても、手元にあるだけで、今までよりも安心できる材料にはなるのかと思っている。</p>
委員長	<p>啓発品として付箋を作ったということで、とてもよくできていると思った。このデザインは誰が考えたのか。</p>
事務局	<p>デザインは事務局が考えた。あいパルにもお見せして、この内容で大丈夫かと校正を重ねながら作ったものである。</p>

委員長	私が手に持っている付箋は、大学で作成した付箋だが、付箋にロゴとかメッセージが沢山入っている。再度、男女共同参画の啓発品で作ることがあれば、スペースの無駄なく作成してもらえると良いと思った。
事務局	啓発品は、毎年1つは作っていききたいため、今いただいた意見も参考にしながら、スペースが少なく、かつ使いやすい、手に取ったときに関心が持てるような啓発品を今後も作っていききたいと思う。
委員長	昔、啓発品の作成も会議の議題に挙がっていた。予算がいくらでどういうデザインで、何をどこで配布するかみたいなどころまで決めて以前は発注していたため、今後そのような場があっても良いと思う。
事務局	事務局だけだと、どうしても偏りが出てしまう部分もあるかもしれないため、今後、会議の議題の1つとして啓発品を何にするか、委員と一緒に決めていけたらと思う。
委員長	他にご意見ご質問等がなければ、議事1について終了とする。
	【議事】 (2) 令和8年度における男女共同参画事業計画について
委員長	続いて、議事(2) 令和8年度における男女共同参画事業計画について、はじめに戸田市の部分を事務局から説明をお願いします。
事務局	資料2-1に基づき説明
委員長	議事(2)について、委員の方から何かご意見・ご質問等あるか。
委員	男女共同参画週間パネル展で、男性に関することを取り上げた展示をする予定というのは、どんな形でやるのか。
事務局	With Youさいたまという新都心にある男女共同参画センターからパネルを借用して展示する予定である。男性に対するアンコンシャス・バイアスなどの内容を展示し、周知啓発を図りたいと思っている。女性の課題が取り上げられてこうするべきだ、こういう環境を整えていくべきという場面が多いと思うが、男性も全員が全員、例えば力持ちというわけでもないし、男性だから言えない雰囲気や環境もあったりするため、そういったことも取り除けたらと思う。

事務局	<p>参考としては、男は泣くなと言われるとか、家を継ぐのは男と父親から言われたとか、男性なのになぜパートなのかと言われるとか、その辺の生活や、人生を進んでいくときにいろいろな方から言われたところの悩みや、男性ならではの視点というような形のパネルがWith Youさいたま側で用意があるため、今回はそのような内容を今までと違う流れで啓発してみようと思っている。</p>
委員	<p>パネルの内容をどれにするか委員会で共有するというのは、今のところは考えていないのか。</p>
事務局	<p>With Youさいたまから、毎年市役所宛に照会文書がくる。数あるパネルの中から今年はどれを借りますかという照会である。その照会期間がこの会議の場に当たれば良いのだが、今回は委員に選んでいただくタイミングがなかった。照会対象のパネルは変わらないと思うため、例えば、次年度以降はパネル貸出一覧を会議の中で事前に見ていただいて、次年度はこういう内容のパネルを展示するとか、そういうことを会議で諮るということは可能である。</p>
委員	<p>皆で話し合っても面白いと思う。</p>
委員	<p>男女共同参画というと女性が会社でとか、女性が社会で活躍というのはいろいろなところで言われてやっているが、男性が家庭で活躍、戦力になって家事育児するというのがなかなかできていない。男性にスポットを当てるのであれば、男性が家庭でいろいろ活躍できる、そういうようなことを啓発するようなパネルがあると非常にありがたい。</p>
委員	<p>資料1-1の情報発信の男女共同参画週間パネル展も、With Youさいたまから借用した資料が展示されているのか。</p>
事務局	<p>借用したものはパネルだけである。パネルだけではなく、今までの啓発品や「つばさ」、あいパルで発行している「PALDISE」などを置いている。</p>
委員	<p>あいパルの報告の資料1-2で、With Youさいたま貸出パネルというところで、「DVってなんだろう」とあるが、これも同じような感じでお借りして展示しているというか。</p>

委員	<p>そうである。With Youさいたまからパネルを借用して、男女共同参画情報コーナーや市民ギャラリーで展示している。</p>
委員	<p>借用した資料の展示は、市役所やあいパルで行うなど、意外とあるのか。</p>
委員	<p>あいパルだと年に3、4回は別で使用させていただいている。展示の機会は少しずつ増えてきているかと思う。</p>
委員	<p>推進事業計画のところで、国や県、近隣自治体の動向の確認という重要なことを優先されているのは、すごく良いと思った。どの範囲を考えているか、どういう情報を収集される予定かということと、委員に対して情報をメールでいただけるとか、事務局の負担を減らしつつ、何か参考になる情報と、どの程度共有できるのかということが気になった。今のところどのような予定かということをお聞かせいただきたい。</p>
事務局	<p>我々も、内閣府が出している男女の計画の策定状況を動向を注視しながら、その内容に少しリンクするような形で作成というところを考えている。実際、内閣府からの進捗情報は自治体にメールで随時送られてくるようなものになっており、そういったものを我々も内部で確認をしながら考えているというような意味合いである。恐らく、内閣府の計画に基づいて、最初に埼玉県が計画に落とし込み、市町村はそういったところの実行部隊として、さらにその計画を少しリンクさせながら検討していくというような意味合いでこういうところを書いている。</p> <p>あとは、計画を作るにあたっては埼玉県内の自治体の策定状況も調査をしながら、我々が特に政策として必要だと思う項目を、例えば調査表を作って、埼玉県内の市町村に照会をかけて、それで計画の中に特別にその施策を折り込むかどうかということも含めて検討していくというような形になる。内閣府からニュースレターのような形で、策定された内容や、国会で審議されている内容などの情報を、一般の方がそのホームページを見て確認しなければいけないところの情報・進捗は、我々のほうにもしきたら、例えば委員の皆様にも参考情報としてお流しするということが可能といえば可能である。</p>
委員	<p>ちなみに、12月21日で第5期の任期が切れ、メンバーがかなり</p>

	<p>入れ替わる。メールをいただけるのは大変ありがたいが、メールだと流れてしまう。交代しても引き継ぎやすい仕組みがあれば良い。</p>
事務局	<p>LINE WORKSよりも、男女共同参画のホームページに随時リンクが載るとかそういう意味合いであるか。それとも随時LINEのようなものがあって、そこを開くと、それぞれが参加できて、各々で拾ってきた情報のリンクを貼ると、共有できるようなものがあるかとか、そういう意味合いになるか。</p>
委員	<p>セキュリティがどうか分からないが、GoogleドライブやOneDriveのように、世間のそういうドライブに資料を納入し続けておくというのもある。あるいは、外部の人がログインしたら入れるシステムはどうか。</p>
事務局	<p>クラウド上に共有しておける資料の保管庫みたいなもの、情報を入れられるものは、厳密には委員会専用や、外部の方がアクセスできるような共有システムは現在はない。先ほど申し上げたLINE WORKSは、LINEのような形でIDを取って登録をしていただいて、そこで自由に意見を交わしていただいてそこにファイルとかも置くということは可能である。現状この男女推進委員会というところが市の組織のような形で動いているため、それが可能なのかというところの検討をさせていただければと思う。</p>
委員	<p>あとは、このあいパルの事業報告はとても興味深い。小学生は調べ学習を結構やっており、市のホームページとか市の施設から勉強しましょうみたいなものを見るとやりやすいと思うので、厳選して2つずつくらいでもいいので、毎年何か貯めていけるアーカイブがあれば良いと思ったのだが、そういったものはすでにあるのか。</p>
委員	<p>あいパルのホームページで男女協働参画のページがある。そちらで昨年度こういったパネル展を行いましたということで写真は載せているが、今までの全ての内容は載せられていない。</p>
委員	<p>著作権の問題があると思うが、事前に確認をして、先ほどの男女共同参画フォーラムのような川柳を3つくらい紹介するだけでも、ただ事業をやりましたということよりも、関心を持って読めると思う。少しでも良いので、継続して見られる何かがあると、特に子供にはすごく良い。せっかく良いことをされているので、もっと良くなるのでは</p>

	ないかと思った。
委員	ちなみに、「PALDISE」のバックナンバーは見られるのか。
委員	見られるが、2年分くらいしかホームページの容量的には載せられなく、全てを見ていただくには男女共同参画情報コーナーに来ていただくしかない。
委員長	<p>今、ご指摘のあった点だが、戸田市の男女共同参画アーカイブを作りたいという話は、以前の会議でも議論はされていた。結論としては、「PALDISE」や「つばさ」のような、戸田市で作ってきた男女共同参画の資料は、過去2年分までしか文書保管しないということで、むしろ縮小してきたと思う。6次の男女共同参画計画を計画されるのであれば、アーカイブの話もぜひ盛り込んでいただいて、少しの電子データを保管できるぐらいの予算は積めるように、ご努力していただけるとありがたいと思う。</p> <p>続いて議事（2）令和8年度における男女共同参画事業計画について、あいパルの部分を委員から説明をお願いします。</p>
委員	資料2-2に基づき説明
委員長	<p>ただいま、議事（2）について説明があった。</p> <p>議事（2）について、委員の方から何かご意見・ご質問等あるか。</p>
委員	今のメンズキッチンだが、このあいだの「つばさ」で潜入取材をさせていただいて、すごく良い雰囲気だった。普段それまで全然料理したことなかったというおじ様や、結構若い男性もいらっしゃる中で、和食を作り、男性同士のコミュニケーションというのが取れていて、とても良い雰囲気だったため、その内容が掲載されているつばさ第74号を是非見ていただきたい。
委員長	<p>他にご意見ご質問がなければ、議事（2）について終了とする。</p> <p>【議事】</p> <p>（3）令和8年度の取組内容（案）について</p>
委員長	議事（3）令和8年度の取組内容（案）について、事務局より説明をお願いします。

事務局	資料3に基づき説明
委員長	議事(3)について、はじめに、リーフレットの構成についてご意見・ご質問等あるか。
委員	短期で作ることと紙面が限られているということを踏まえて、構成を考えるために、まず誰を対象に作るリーフレットなのかというところと、このリーフレットのゴール、目的がまずないと、構成を考えるのは無理かと思う。対象と目的というところがはっきりすると、もうちょっと見えやすくなると思うことと、「つばさ」と同じくらいの範囲で、このレイアウト案だとギチギチに詰まった内容になると思う。
委員長	対象は市民全員である。SRHRという聞き馴れないテーマに関心を持ってもらうということが入り口になるようなリーフレットというところである。
委員	このSRHRリーフレットは、一番最初に作るものになるのか。
事務局	そのとおりである。
委員	近隣の市町村でも、SRHRについてのリーフレットとかは作っているところはあるのか。
事務局	「つばさ」みたいな情報紙に掲載するような形で作っている自治体はある。With Youさいたまは、SRHRの特集を情報誌に載せている。あとは渋川市や国立市の男女共同参画センターが作っている。紙面数が多いため、いろんな情報を載せられている印象を受けた。今回は作成期間が短く、配布予定のあいパルのお誕生日会まで1回しか会議がない。7月の委員会では最終形態のものをお見せして、細かい部分や、最後に載せたいものは何かということをお話し合えたらと思っている。このあとの5月や6月では、メールでいくつかやり取りさせていただいて、校正等をしていけたらと思っているが、校正期間はやはりタイトではある。
委員	SRHRという言葉を知ってもらうくらいだったら、A4の両面くらいでの量でもよいと思う。
委員	情報を入れすぎると分かりにくくなる。さっきのWith Youさい

	<p>たまたかに飛べるような案内のコードとかを並べても良いかもしれない。あまり詰め込まないほうが良いと思う。</p>
委員	<p>今期の事務局は、結構事務局側がやったださって、事務局が作成した内容を推進委員会がチェックみたいな流れである。前の事務局でリーフレットを作るときは一から作った。それだったら今、別の委員がおっしゃっていただいたように、印刷物のサイズを小さくして、やれる範囲で作るというのも一つの選択肢かとは思う。</p>
委員長	<p>例えばワーキンググループを立ち上げて、委員会の外で提案を作って、ネーミングなり、名称なりで共有して議論するとか、そういうことも良い。私の経験だと、2回の会議でここで審議して決めるというのは、やったことがない。そのスケジュールだと、ほとんど事務局にやってもらうという形になってしまう。委任していいのかということになっている。</p> <p>SRHRというテーマが広すぎて、全部は扱えない。だから、今回はどこか一つに絞って、戸田市の男女協働参画委員会としてはこのテーマについて市民に伝えたいというところをまず決めて、戸田市のメッセージを設定してから、それを説明するようなものを作る必要がある。分かりやすくするためには、戸田市の特定のケースみたいなものを折り込んで、例えば生徒児童同士の性加害の問題とか、教員による性加害の問題とか、そういう具体的なケースなり事件なりがあって、それに対して実は身近なことなんだよというふうに気づいてもらう。ニュースでテレビの向こうで起きていることではなくて、戸田の子供たちや市民が、実際に関与している問題なんだということがこの4ページで伝わると、自分ごととして受け止めてもらえるのかと思っている。</p>
委員	<p>今回のこのリーフレットは何部をどこまで配布するのか。</p>
事務局	<p>多めに刷って、もし町会に発送できそうな部数があれば、それもゆくゆくは配布していけたらとは思っている。あとは公共施設、LINE、X、Facebookなどでも幅広く周知できたらと思う。部数は決まっていはいないが、「つばさ」で4500部刷っているの、それに近いくらいの数を刷れたらと思う。</p>
委員	<p>お誕生日会は何人くらい来るのか。</p>
委員	<p>2日間開催して3500人前後である。</p>

事務局	<p>最初に作るSRHRの印刷物ということなので、皆さんの意見も踏まえながら、A4両面でまずはいけたらと思う。</p>
委員長	<p>内容として、もう少し身近に入っていやすいテーマとで、子供の安全や子供の人権みたいなどころから考えて、SRHRと私たちの生活の中で、比較的身近な子供たちがどういう性的な状況にさらされているのかを、理解してもらうようなコンセプトでいかがか。</p> <p>リーフレット以外の2つ目の取組テーマが小学校での「いのちのおはなし」の出前講座ということにもつながるし、1面がSRHRの説明、戸田の子供たちの、自分の体に関する権利とか安全に関するテーマなど、表面裏面でそれぞれテーマ1つずつまで絞ってしまった方が良いと思った。</p>
事務局	<p>あいパルのイベント時でのリーフレット配布の際は、推進委員会の委員でもし出られそうな方がいたら、啓発も一緒にできたらと考えている。あとは、性加害に万が一あってしまったときの、相談窓口の案内を載せられたら良いとも思っている。</p>
委員	<p>表面ではSRHRの課題というか、身近に感じられるようなものを挙げて、定義を添えるということになるのか。SRHRの定義を説明するのは難しいと思っており、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツといっても全然分からないと思うが、それを読んでもくれるかという点もまた難しいかと思っている。</p>
委員長	<p>言葉を取ってしまうか。現代の男女共同参画にとって重要な考え方みたいな出し方にして、SRHRを覚えてもらうことが目標ではないかと思っていて、言葉が邪魔になるのではないかと。取ってしまった良いかもしれない。</p> <p>LGBTQをやった時もそうだったが、言葉でまず壁になってしまう。男女共同参画は難しい言葉が多いので、アルファベットやカタカナというのは、日本語になじまない概念である。だから長い文章を説明しないといけないので、理解が遠のくようなことになるから、言葉を取ったほうが良いと思った。</p>
委員	<p>タイトルには載せなくてもよくて、でも読んでいたら括弧内に書いてあるとか。</p>
委員	<p>資料1で挙げられた啓発品の付箋に書いてある「私らしさは私が決める」とか、そのような言葉は本当に良いのでこういう形でつくと良いと</p>

	<p>思う。戸田市のメッセージとしてSRHRがどう関係しているかというのが、子供に焦点を当ててわかるような、そういうものでまずは良いと思う。</p>
委員	<p>委員長がおっしゃった関係で、SRHRという言葉を広めようという考えないほうがいいのかも。良いキャッチフレーズがあって、下のほうに小さくSRHRの考えに基づいています、があるなど、詳しい説明は別の自治体のデータの案内を貼るとかでも良いと思う。</p>
委員	<p>時代が変わると、また状況も変わってくるかもしれないので、また作り直すと思う。最初から頑張りすぎず、今伝えたいことを入れられれば良い。子供に自分のことを大事にしてね、ということでも良いと思う。</p>
委員	<p>LGBTQって最初は何だろうという感じだったが、今非常にLGBTQというとすごくイメージが湧く。SRHRはまだ市民権を得ていないとか、みんな分からないので、とりあえず今回出さなくても、何年かするとSRHRもLGBTQのように市民権を得るかもしれないから、そしたらその時出すので良いかと思う。</p>
委員	<p>このリーフレットを配布するときはお祭りのようなイベントなので、市民に届くのかというのを私は疑問に思っている。その雰囲気にはそぐわないとか、ちょっとかけ離れたものになってしまうのかと思う。ただ渡されるというより、クイズラリーやスタンプラリーのように自分で取りに行かないと残らないのかと。自分で取りに行き、ワードとして認識、こういう言葉があると知れる一つのきっかけにみたいになる。関心のない方にも広く知っていただくという目的ということであれば、クイズにして子供向けみたいなものや、書き込み形式で自分事みたいな感じにするのも良いと思う。</p>
委員	<p>ブースでクイズみたいなのをやって、ガラポンやくじ引きみたいなのをやるとかでも良いと思う。</p>
委員	<p>昔のイベントでは、ぬり絵や5問クイズを行った。</p>
委員	<p>アイロンビーズを作ったりもした。ガラポンをして、一等がスリッパとかエコバックとかもらえたりなどがあった。</p>
委員	<p>リーフレットを配る場所と、それから男女参画委員会のブースを何メートルか離して、これを見てくれて、そこに行ったらこれあげるよ、で良</p>

	<p>いのではないか。リーフレットを両面にして、そこに四角の枠をつけて、ぱるぱるちゃんか、何かのスタンプなりシールなりを貼ってとやったら、リーフレットを配るだけで、リーフレットも見ると、ブースにも行く、啓発品ももらえる、それが簡単だと思う。</p>
事務局	<p>リーフレットの配布方法についても、検討していきたいと思う。</p>
委員	<p>リーフレットの作り方について、最初は事務局で作って皆さんに見てもらおうという話をしていたが、もし事務局と有志でご協力いただける委員の方がいらっしゃったら、土台とかをメールでやり取りさせていただいて、作っていただけると思う。</p>
事務局	<p>あとで事務局から、最初の土台作りをご協力いただける方を募るので、ご協力いただける方、そのあと少しやり取りさせていただいて、次回会議までに概ね土台のほうを整えさせていただきたいと思う。</p>
委員長	<p>資料3の学校への啓発活動についても、ご意見ご質問等があればお願いします。</p>
委員	<p>出前講座は、SRHRの内容なので、母体保護みたいな話になるのかわからないが、例えば中絶するという選択肢に対して、罪悪感を持つみたいな方向になってしまわなければ良いと思う。自分の体の妊娠とか、出産ということを自分で決めるというほうに話が進めば良いと思う。</p>
事務局	<p>偏りすぎる内容になってしまうのもどうかという部分は確かにあるので、そのあたりもどうすべきかということ相談していければと思う。学校でただ単に出前講座を開くというだけではなく、推進委員も関わることが可能なのかという部分についても、学校側と相談しながら決めていけたらと思っている。</p>
委員	<p>実施時期は未定か。</p>
事務局	<p>実施時期も未定である。出前講座をするとなると、実施時期の2か月前に申込みをしなければいけないため、例えば11月でやるとなったら9月までとか、そういった決まりがあるみたいなので、早めに学校側と相談をして、推進委員の中でもご相談させていただけたらと思っている。</p>
事務局	<p>次回会議で、もう少し進展があるようでしたら、また改めて皆さんにお</p>

	話を聞きたいと思っている。
委員	たしか5年生の理科で、妊娠の仕組みみたいなことを習うと思うので、それを踏まえた後のほうが良いと思った。
委員長	他にご意見ご質問がなければ、議事（3）について終了とする。 最後に、その他について、委員の皆様から何かあるか。
委員	<p>前回、ジョイセフの方にお話しいただいた中で出た、ホワイトトリボンランに参加して来た。3月7日の土曜日にさいたま新都心でやっていたが、色々聞いてみたら、ホワイトトリボンランはジョイセフさんとしては11回目ということで、さいたま新都心の開催は5回目ということであった。種目としては、4.5キロのラン、3キロのランと、あと2キロのウォーク。歩くだけという種目もあった。合計で130名が参加ということで、5回目で過去最高の参加者とのことだった。</p> <p>主催者はジョイセフだが、拠点運営は一般社団法人のさいたま新都心エリアマネジメントであった。いわゆる新都心の様々な企業とかそういう団体の社団法人があるみたいで、さいたま市は運営に絡んでいないということだった。</p> <p>3月がホワイトトリボンランの月間で、全国で62拠点で開催だったが、埼玉県ではさいたま新都心のみということで、今回はジョイセフの事務局長が開会式で挨拶していたが、5回目にして初めて来られたとのことだった。それで、さいたま新都心に入っている企業の中には、参加費を労働組合が補助している企業もあるということで、割と団体で参加している人も全体の2割程度いたとのことだった。それから、さいたま新都心に入っている企業からは協賛金をいただいているとのことだった。</p> <p>走った後は、白杖体験、あとは埼玉トヨペット社があるため、シーウォークという1人の立ち乗りの電動カーの試乗ができた。</p> <p>私の感想としては、戸田市主催で実施するのは難しいというふうに感じた。戸田市でホワイトトリボンランの活動認知度を上げるには、例えば推進委員会の何名かでウォーキングなどに参加して、それを広報に載せるなどで広めていくという手もあるのかと思う。来年の3月にホワイトトリボンランをするため、皆様にもご案内をしたいと考えている。</p> <p>もし、戸田市で何かイベントとしてやるとしたら、今戸田市スポーツセンターが改修予定に入っていて、数年後になると思うが、完了月がもし2月とか3月であれば、新装記念としてホワイトトリボンランをその年に限って行うというのも1つとしてあるのかと思った。</p> <p>それで、その前の週、実は東京マラソンがあり、私はチャリティーで参</p>

	<p>加しているのだが、ジョイセフもチャリティーで東京マラソンの団体になっていたため、そのブースで挨拶をして、「ジョイセフの方に研修をしていただいたんですよ。」と言った。そうしたら、その日のうちに講師から、「ブースに寄っていただいてありがとうございます。」といったメールがきて、反応がとても早く、良い方ということがわかった。</p> <p>あとそれから、ランナーである友人の議員にもホワイトリボンの話をし、来年予定があればホワイトリボンに出ようという話もいただいた。以上である。</p>
委員長	事務局から何か連絡はあるか。
事務局	事務局からは特にない。
	議事終了、閉会